

# 阿賀町室谷区 青年会を軸とした地域研究・実践活動のこれまでと今後の展望について

平成 29 年 2 月 意見交換会資料

大正大学・東京農業大学学生

指導教員 大正大学 大川 洋史

東京農業大学 杉野 卓也

連携教員 大正大学 出川 真也

アドバイザー教員 大正大学 福島 真司

## 1. 研究テーマ

地域青年会との協働による若者の山村ー都市交流と新たな地場生業の創出

## 2. 集落の概要と課題

阿賀町室谷地区人口 115 人、世帯数 29、高齢化率 35.6%。

過疎化高齢化に起因する集落活動の減退や地域資源保全管理の課題。集落の若手世代層を中心に構成される「青年会」による新たな活動展開の萌芽が見られることが注目される。



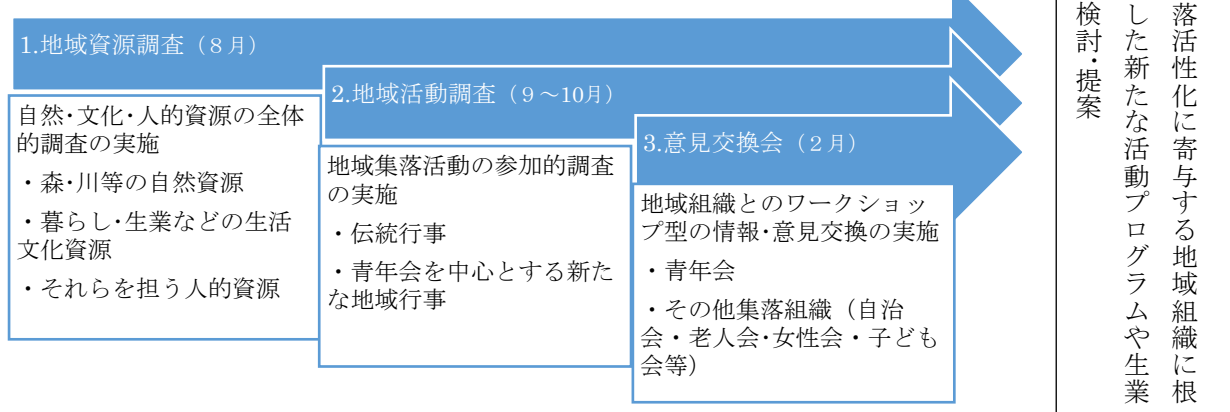
室谷の夕べ 青年会の皆さんとの交流の様子

## 3. 調査研究の目的

青年会がチャレンジしようとしていることに寄り添い、構成メンバーと協働しながら研究調査活動を進めることで、青年会・若手世代層が軸となって地域活性化に寄与できる集落の自然・文化的資源に根ざした新たな活動プログラムや生業を提案する。

## 4. 本年度事業の実施内容と結果

### (1) 事業の流れ



### (2) 実施内容

#### 1) 地域資源調査 8月5日～10日

##### 「地元学」の実施

- ・青年会・住民と集落の資源調査を実施
- ・山林、川、食文化、住まい・暮らし、道具などの掘り起こし。



川の文化 (川漁) 調査の中ではサクラマスを捕獲

## 2) 地域活動調査 9月10～11日、10月8～9日

青年会が取組んでいる地域活動に参加、取材。

- ・室谷祭礼 伝統行事 神輿担ぎ、その後のお楽しみ会の開催のお手伝い
- ・おもっしえぞ祭 (旧神谷分校学芸会) : 開催の手伝い・見学取材・出演



室谷祭礼の神輿担ぎを体験



子どもたちお楽しみ会のお手伝い



地区の芸能祭 (おもっしえぞ祭) への出演

## 3) 意見交換会 8月～2月

- |     |       |       |                        |
|-----|-------|-------|------------------------|
| 第1回 | 意見交換会 | 8月9日  | 地元学結果の共有 調査結果活用方法の検討   |
| 第2回 | 意見交換会 | 9月10日 | 都市との連携方策についての検討        |
| 第3回 | 意見交換会 | 10月8日 | イベントを通じた地域活動の今後の展開について |
| 第4回 | 意見交換会 | 2月6日  | 調査結果報告 (予定)            |
| 第5回 | 意見交換会 | 2月8日  | 今後の活動検討 (予定)           |



作成した地域資源マップをもとに活動を検討

## 5. 結果と今後の方針案

### (1) 結果

- ・青年会はじめ地域組織にはふるさと自然・文化を基盤として様々な学び (森、川、食、暮らし、産業、交流、環境、国際など) を促進する「教育力」が存在することが明らかになった。
- ・一方で地域資源が未活用。これら地域に根ざした宝を、担い手育成・町外若者の誘引のために活用していく新たな方策が求められていることが浮き彫りになった。
- ・阿賀町では阿賀黎明高等学校及び28年9月開設の公設塾「阿賀黎明学舎」において、ふるさと資源を活かした教育プログラムの設定を模索中。町外からの新たな高校生 (留学生) の誘引や都市部への阿賀町教育活動の魅力の訴求向上を図っている状況がある。

### (2) 今後の方針

- ・青年会を軸とする若者育成プログラムの構築と内 - 外協働の学習・交流産業作り (地域活性化と青年会の若手担い手育成・誘引を相乗的に向上させる地域生業作り)
  - ・初動段階の取り組みとして青年会・高校生・都市大学生協働による阿賀町ならではのサービスラーニング、キャリア教育プログラムを設定・実施
- 来年度は、青年会を軸とした教育・交流産業モデルとして、地域青年会を軸に室谷の資源を活用した高校生向け地域学習プログラム「ふるさと学習キャンプ」(仮称) の試行実践を提案する。